

6月7日の放送についておわび

6月7日に「これでわかった！世界のいま」でアメリカの抗議デモについて放送した際、不適切な内容が含まれていました。国内外の差別や偏見に苦しむ人たちを傷つけ、また、多くの方に不快な思いをさせてしまったことを深く反省し、心からおわびいたします。

放送では、デモの発端は黒人男性が警察官に押さえつけられて死亡したことを紹介したうえで、様々な人達が怒りを募らせている背景やアメリカ社会の分断の現状など26分間にわたってお伝えしました。この中で黒人の人たちが置かれている厳しい状況を経済格差のデータをもとに1分20秒程度のアニメを制作しましたが、国の内外を問わず、多くの方々から「黒人の描写に偏見がある」などといった批判をいただきました。NHKはアニメのツイッターへの掲載を取りやめ、NHKプラスでの見逃し配信も停止しました。

アニメは、黒人の屈強な男性などが経済への不満から暴れているかのように描かれ、黒人の人たちに対する誤った印象を与えるものでした。また、放送当時、デモは、平和的なものがほとんどで、様々な人種の人たちが参加していましたが、アニメはこうした状況を反映していませんでした。アニメとコメントの一部は「黒人の人たちに対する差別と偏見を助長するものだ」と厳しい批判を多数いただきました。

今回、私たちが問われたのは、人種差別の問題を取り上げるにあたって、人権や多様性に対する意識を持って制作したかという点でした。アニメは、経済格差のデータを分かりやすく伝えようと、編集責任者やデスクが確認しながら制作しました。しかし黒人の人たちの描き方については、人権や多様性に対する認識が甘かったと思います。その結果、尊厳を傷つけてしまうことになりました。

今回の問題をうけNHKでは今後、取材・制作者への研修を改めて行い、人権に対する意識を徹底していきます。また、あらゆるテーマについて、多角的な視点を持って、いっそう丁寧に議論しながら取材・制作にあたってまいります。

この番組は、世界の様々な人たちが、どのような状況に置かれて日々の生活を送り、世界がどこに向かおうとしているのかを子どもたちにも分かりやすいように伝えるため、5年前に始まりました。

いかなる差別や偏見もあってはならないと思います。今回いただいた厳しいご批判を重く受け止め、2度とこうしたことがないよう、人権の尊重という原点に立ち返って取材・制作に取り組んでまいりたいと思います。

NHK報道局国際部長 田端祐一